

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

鉄スクラップを鉄鋼製品にリサイクルし、省資源・省エネルギーを通じて地球環境の保全に努め、社会の発展に貢献する電炉グループ。

連結売上高
1,250億円

連結経常利益
95億円

ROE
5%程度

CO2削減目標
46%削減

2 中長期の経営戦略

1. 国内事業基盤の強化

高品質商品と納期対応力を活かし、東京鋼鐵との販売連携で営業強化。堺工場に2025年度省エネ型電気炉を稼働させ、倉庫能力強化やスクラップ調達力向上を推進。

3. 資本効率化対策

配当性向30%を目途とした配当に加え、今後3年間で300億円を上限とする株主還元。自己株式の公開買付けと消却を実施。

2. 海外事業の改善

インドネシア子会社KOSの黒字化に向け、製販連携強化やビレット調達を通じた事業改善を継続。構造的なFCFでフォローし、事業継続性を総合判断。

4. カーボンニュートラル推進

2030年度に2013年度比46%のCO2削減目標、2050年度のカーボンニュートラルをビジョン。推進委員会で具体的施策・計画を策定し実行。

3 対処すべき課題

① 国内建設需要の低迷対応

- ・ 人手不足・働き方改革による工事遅延、資材高で需要低迷。中長期的な需要拡大は見込めない。
- ・ 競争力維持のため高品質・納期対応力を最大限活かし、プレゼンス向上が必須。

② スクラップ調達の課題

- ・ カーボンニュートラル実現に向け上級屑の需給がタイト化。安価屑の利用拡大による調達ソース多様化が必要。

③ インドネシア事業の立て直し

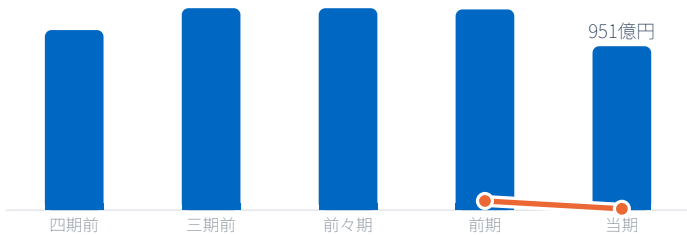
- ・ KOSは2023年度末に▲18億円の債務超過。政府のインフラ開発予算削減で需要動向が不透明化。
- ・ 事業撤退時は200億円規模の損失可能性。製販連携強化と大阪製鐵との一体運営で改善を図る。
- ・ 構造的なFCFが継続的にマイナスとならないことを事業継続の基準とする。

面接で使えるポイント

- ・ 経営理念の『省資源・省エネルギー』を実現するため、堺工場に2025年度に省エネ型電気炉を導入し…
- ・ 2027年度にROE5%達成を目指す中期経営計画で、売上高1,250億円、経常利益95億円の目標を設定し…
- ・ 2030年度にCO2を2013年度比46%削減し、2050年度のカーボンニュートラル実現を掲げ…

証券コード 5449

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
951億円営業利益率
▲0.3%財務健康度
56点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 58.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
715万円

鉄鋼内 21位/38社

平均年齢
41.4歳

鉄鋼内 20位/38社

平均勤続
14.7年

鉄鋼内 33位/38社

女性管理職
2.4%

鉄鋼内 18位/32社

男性育休
64.3%

鉄鋼内 21位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

